

第九中学校・中央中学校 第 3 号 統合委員会ニュース

発行：第九中学校・中央中学校統合委員会

このお知らせは、「第九中学校・中央中学校統合委員会」における協議の状況を地域の皆さまにお知らせするために発行しています。

中央中の周辺を視察しました

第九中と中央中の統合新校は、統合後に現在の中央中の校舎を建て替

え、平成26年度に移転する予定になっています。

9月10日に開催した第3回統合委員会では、新しい校舎を建設することになる現在の中央中の周辺の状況を視察しました。

中央中の南側にある警察大学校等移転跡地については、防災公園のほか、いくつかの建物ができる予定です。そのため、現時点で予定されている建築計画について説明を受けました。



中央中の周辺を視察する統合委員会委員

新校舎の考え方について協議しました

統合新校の校舎とするための中央中校舎の建て替えについては、今年度に基本計画を策

定し、来年度から2か年を掛けて設計をすることになっています。

統合委員会では、基本計画の策定支援業務を行っている設計事務所から、校舎建築の基本的な考え方(案)が示され、意見交換を行いました。

《校舎建築の基本的な考え方(案)》

1. 中学校教育の充実と円滑な学校運営を図ることを主旨として、未来を担う生徒たちのために、高機能で多機能な学習環境の整備を図る。
2. 特別支援学級における特別支援教育の充実に資する施設づくりを行う。
3. 生徒たちや周辺地域の方に対する環境教育の充実を図るとともに、地球温暖化等の環境問題に対応するため、施設の緑化などのほか、自然エネルギーを活用した省エネ・省資源型の施設づくりを行う。
4. 学校運営上支障のない範囲において地域開放を行い、社会教育等の利用に配慮するとともに、子どもから高齢者、障害のある人にも不自由なく利用できるユニバーサルデザインによる施設づくりを行う。
5. 不審者の侵入防止などの安全対策について十分な対策を講じるとともに、大震災時の地域防災

拠点としての活動を踏まえ、防災機能の充実、災害時に防災公園と連携した避難・救援活動が円滑に行なえる施設づくりを行う。

《主な意見等》

- ・ こんな学校なら行きたい、という環境づくりをぜひお願いしたい。
- ・ いろいろな大きさの部屋があるということが必要である。
- ・ 学習は学級単位での学習が基本であり、体力づくりは校庭が基本だと思う。
- ・ 特別支援学級に関しては、その子たちにマッチした教室というのをつくらなければいけない。
- ・ 地域コミュニティとの関係について、施設的にどの辺まで考えるのか。
- ・ 学校の休業日に、地域のコミュニティで家庭科室などを使用できるように、設計の段階で考慮していただきたい。

このことに関連して、これから新しい校舎の設計を進めるうえでの参考にするため、第九中・中央中の生徒・保護者の皆さんなどにアンケート調査を実施することにしました。

第九中校舎改修についての意見を提出しました

統合新校は、統合時から中央中の位置に新校舎が完

成するまでの間、現在の第九中の校舎を使用します。

統合委員会では、前回に引き続き第九中の校舎の改修工事について協議し、次のように意見を取りまとめ、教育委員会に対して提出することにしました。

《意見の内容》

1. 仮校舎であっても、統合する2校の記念となるスペースを設置することは必要だと考えます。
2. 老朽化している部分もかなりありますので、2年間しか使わないという制約はあるものの、教室数の確保にあわせて必要な補修をしていただきたいと思います。
3. 教室数の増加に伴い、生徒用ロッカーを各教室の外の廊下に置く必要が生じます。ロッカーを廊下に置くことで教室の地窓がふさがれ、通風に支障が出る可能性があります。教室の通風を確保することが必要だと考えます。
4. 改修にあたっては、大規模な形状の変更はせず、現在の校舎の歴史を伝えられるようにしてもらいたいと考えます。
5. 給食については、極力質が落ちないように努めていただきたいと思います。

第九中学校・中央中学校統合委員会ニュース 第3号
編集・発行：第九中学校・中央中学校統合委員会
事務局：中野区教育委員会事務局学校再編担当
TEL:03-3228-5548 FAX:03-3228-5679

今後の統合委員会は、
10月16日(金)
11月19日(木)
に開催する予定です。

※ 統合委員会の会議要旨は、区役所5階教育委員会事務局学校再編担当もしくは教育委員会ホームページでご覧になれます。